

2019 年度

林業成長産業化総合対策補助金
木材需要の創出・輸出力強化対策事業

「地域内エコシステム」構築事業
応募にあたって

一般社団法人 日本森林技術協会
株式会社 森のエネルギー研究所

地域内エコシステムとは

— 木質バイオマスエネルギーの導入を通じた、地域の人々が主体の地域活性化事業 —

地域内エコシステムとは、集落や市町村レベルで小規模な木質バイオマスエネルギーの**熱利用**または**熱電併給**によって、森林資源を地域内で持続的に循環させる仕組みづくりを目指し、山村地域等の活性化を実現していくことです。

これにより、いままで地域外に流出していた資本を地域内で循環させるシステムと地域関係者への利益還元を目指します。

地域内エコシステムの考え方

- ✓ 地域内の森林資源をマテリアルやエネルギーとして有効活用する地産地消型の取り組み
- ✓ 市町村レベルを想定（必要であれば複数の市町村でのまとまった応募も可）
- ✓ 熱利用また熱電併給の出力は 1,000kW 未満を想定
- ✓ FIT（固定価格買取制度）事業は想定していない
- ✓ 低加工度の燃料材（薪やチップ等）を活用
- ✓ 未利用材やC・D材、地域材の加工副産物の活用
- ✓ 木材の安定的かつ効率的な供給体制が確保され、森林関係者等の地域社会に利益が還元される取り組み



図 地域内エコシステムのイメージ

目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 事業概要について | 1 |
| (1) 事業の背景と目的 | 1 |
| (2) 「地域内エコシステム」の導入に向けたロードマップ | 1 |
| 2. 応募対象について | 2 |
| (1) 応募するにあたって【エネルギー利用先例：参考】 | 2 |
| 3. 事業スキーム（事務局と採択地域の実施体制） | 3 |
| 4. 具体的な取り組み内容等 | 4 |
| 5. 公募期間・スケジュール | 5 |
| (1) 公募期間 | 5 |
| (2) 公募締め切り | 5 |
| (3) 応募から採択までのスケジュール（採択前） | 5 |
| (4) 採択から事業完了のスケジュール（採択後） | 6 |
| 6. 応募申請について | 7 |
| (1) 申請概要について | 7 |
| (2) 事業デザイン | 7 |
| (3) 現状について | 8 |
| (4) 自由記載（その他、アピールポイント） | 8 |
| 7. 審査方法 | 9 |
| (1) 一次選考 | 9 |
| (2) 二次選考 | 9 |
| 8. 応募書類の提出方法 | 10 |
| (1) 提出方法 | 10 |
| (2) 提出物 | 10 |
| (3) 公募締め切り後の予定について | 10 |
| 9. 留意事項 | 11 |
| 10. FAQ | 11 |
| 11. 問い合わせ先 | 11 |

1. 事業概要について

(1) 事業の背景と目的

2012年の再生可能エネルギーの固定買取制度（FIT 制度）の施行以降、全国において木質バイオマスを活用した事業が活発化しています。一方で、燃料用材の安定供給の面で課題が浮き彫りとなっており、近年では、より小規模でエネルギー効率の高い熱利用や熱電併給に対する関心も高まりつつあります。

本事業では、「地域内エコシステム」の導入に向けて、実現可能性調査（以下、F/S 調査）および地域の関係者による合意形成のための協議会の立ち上げ・運営を支援し、ひいては、全国的な普及を目指すことを目的とします。

(2) 「地域内エコシステム」の導入に向けたロードマップ

本事業では、F/S 調査や協議会の立ち上げ・運営の支援をとおして、地域関係者を巻き込んだ地域が自立的・継続的に事業に取り組むことができる体制の構築を支援します。このため、事業化に向けたあらゆる取り組み段階での支援を実施します。

下図に、進捗段階の例を示します。

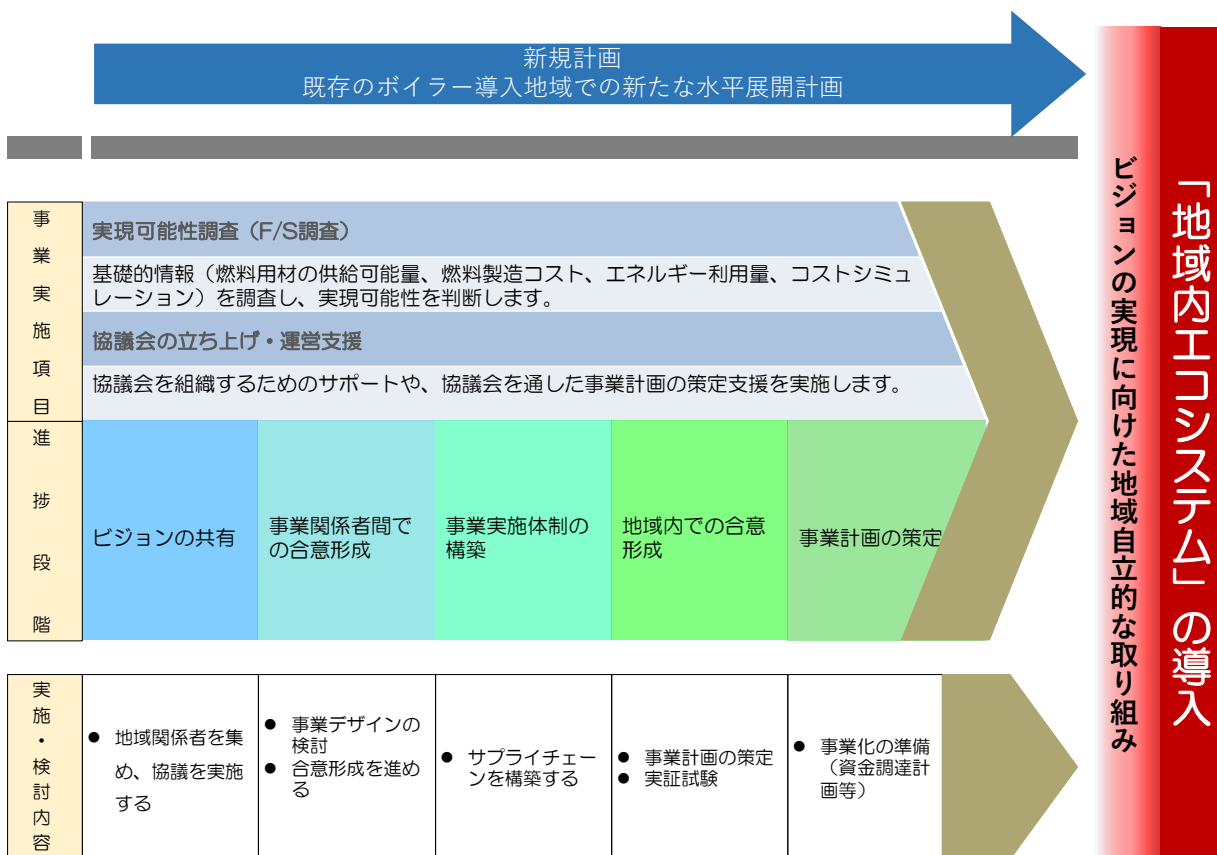


図 地域内エコシステムの導入に向けたロードマップ《例》

2. 応募対象について

本事業の応募対象者は、市町村または民間団体などです。

なお、市町村以外が実施主体として応募する場合は、市町村と共同で申請するか、または、市町村と協力体制（協議会への参加は必須）を明確に示すことが条件となります。また、熱利用のない発電のみを想定した事業計画については、応募対象となりません。

受領した応募書類は内容を審査した上で、15 地域を採択します。

審査方法については、p.9をご確認ください。

(1) 応募するにあたって【エネルギー利用先例：参考】

これまで本事業に取り組んでいる地域では、主に温浴施設での木質バイオマスエネルギーの導入を検討している地域が多くなっています。しかし、木質バイオマスエネルギーの利用は多岐にわたって可能性があります。地域の特性を踏まえた多様な導入モデルの提案を期待します。

下表は、申請するにあたって参考にしてください。

表 エネルギー利用先例：参考

| 規模（およそ） | 用途 |
|-----------|---|
| 100kW 未満 | 床暖房・菌床きのこ栽培施設（冷暖房） 施設園芸、キャンプ場（シャワー用給湯） |
| 100～300kW | 陸上養殖施設（水槽加温）、菌床きのこ栽培施設（冷暖房） 福祉施設（給湯）、宿泊施設（給湯、浴槽加温、冷暖房） 学校・保育園（暖房）、事務所（暖房、冷房） 植物園（熱帯動物） |
| 300～700kW | 屋内プール（加温、給湯、暖房） 融雪、植物工場・大規模施設園芸（冷暖房） 病院（滅菌、給湯、冷暖房）、大学（冷暖房） 食品・水産加工工場（加工熱源、殺菌、乾燥） クリーニング工場（蒸気）、温浴施設（給湯、浴槽加温） |
| 1000kW 前後 | 地域熱供給、融雪 木材乾燥施設（乾燥熱源） |

3. 事業スキーム（事務局と採択地域の実施体制）

一般社団法人日本森林技術協会と株式会社森のエネルギー研究所が事務局となり、採択された地域の方々と協働で本事業を進めていきます。

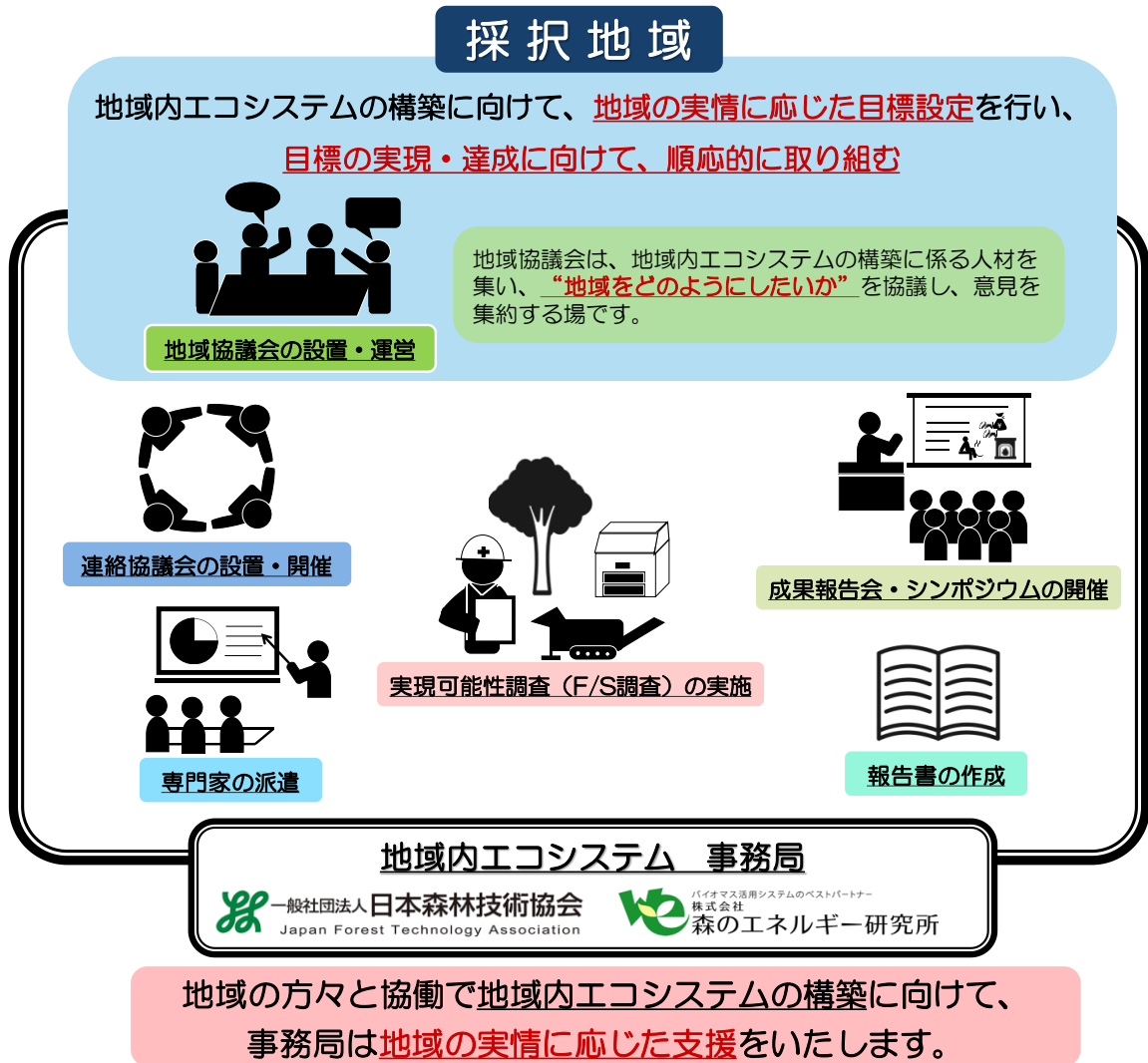


図 本事業の実施体制

4. 具体的な取り組み内容等

本事業では、地域内エコシステムの導入を図るため、地域の実情や課題に応じ、以下の支援等を実施します。

採択地域の事業推進に向けた取り組み

◆ 地域協議会の設置・運営支援

採択者により設置された協議会の運営支援を実施します。

◆ 実現可能性調査（F/S 調査）の実施

採択者が描く地域内エコシステム構築に必要な川上（燃料供給）、川中（燃料製造）、川下（エネルギー利用）における人材、資源、情報等を調査し、地域ごとの特性や課題を明らかにします。

具体的な調査は、適切なサプライチェーンの検討、木質バイオマスの賦存量、最適な燃料種別、エネルギー需要量、ボイラー導入に向けた経済性の試算等です。

なお、実現可能性調査は地域の実情に応じて調査内容や項目が異なります。

◆ 連絡協議会の設置・開催

採択者と検討委員及び専門家が集う連絡協議会を設置します。各地域の計画と課題を共有し、検討委員及び専門家からの指導助言、地域間の情報交換を通じ、木質バイオマス活用の理解と推進を図ります。

専門家は、木質ボイラー関連会社や地域づくりに取り組んだ経験者を予定しています。

情報の共有や成果の普及に向けた取り組み

◆ 成果報告会・シンポジウムの開催

成果報告会では、採択された全ての地域の事業結果を報告します。

シンポジウムでは、テーマや地域を絞り、木質バイオマス活用に向けた課題とその解決方法について議論します。

5. 公募期間・スケジュール

公募期間および公募の締め切り、スケジュールについては、以下の（１）から（４）のとおりです。

（１） 公募期間

2019年5月8日（水）から2019年6月7日（金）

（２） 公募締め切り

2019年6月7日（金） 17時（必着）

* 締切日時以降に提出された書類については、選定対象にはなりません。

（３） 応募から採択までのスケジュール（採択前）

応募から採択までのスケジュールは下図のとおりです。審査方法については p.9 をご確認ください。

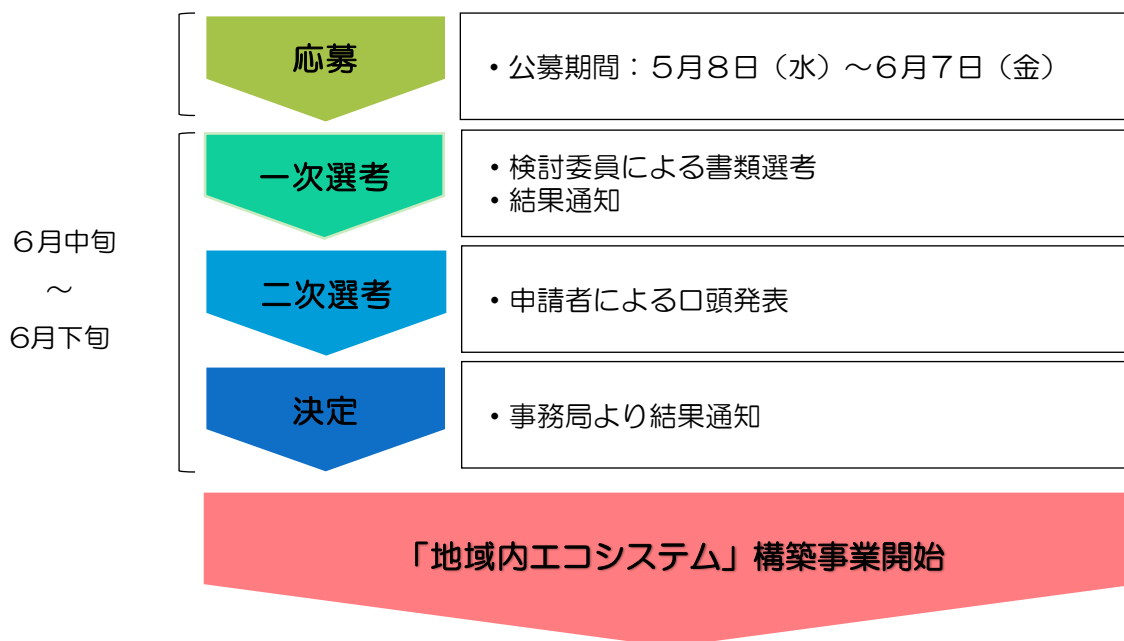


図 応募から採択までの流れ

(4) 採択から事業完了のスケジュール（採択後）

事業の実施項目ごとの採択から事業完了のスケジュールは下表のとおりです。

本事業は地域の方々と協働で進めていくため、実施項目の実施時期や回数には地域間で異なる場合があります。

表 採択から事業完了までの流れ

| 実施事項 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------|----|----|------------------------|----|----|-----|-----------------|-----|----|----------------|----|
| 実現可能性調査 (F/S調査) | | | → ・ 地域の実情に合わせた調査を実施 | | | | | | | | |
| 地域協議会 | | | → ・ 3回程度を予定 | | | | | | | | |
| 連絡協議会 | | | → ・ 2回を予定 | | | | → | | | | |
| 専門家の派遣 | | | → ・ 地域協議会などに専門家を派遣 | | | | | | | | |
| 報告会・シンポジウムの開催 | | | | | | | | | | → ・ 調査結果の報告 | |
| 報告書の作成 | | | | | | | → ・ 成果のとりまとめ | | | | |

6. 応募申請について

応募申請書は、様式第1号、様式第2号、様式第3号の3種類あります。以下の内容を可能な範囲で記載してください。また、不明な項目は空欄のままご提出ください。

また、応募申請書一式は、[地域内エコシステム専用HP](http://wb-ecosys.jp)（応募サイト：<http://wb-ecosys.jp>）より、ダウンロードしてください。

申請書（様式第1号）

応募申請書を提出するにあたり必須となる書類です。必要事項を記入し、応募申請者の組織代表者の署名捺印の上、ご提出ください。

また、民間団体による応募（共同申請）の場合は、本事業で立ち上げ、運営する協議会等に市町村が参加することが必須となります。そのため、両方の組織代表者の署名捺印の上、ご提出ください（事務局から問い合わせする場合があります）。

事業計画書（様式第2号）

(1) 申請概要について

① 対象地域

申請している地域について（地勢など）、記入してください。

② 地域の概要

地域の概要（特徴、主産業、観光地化の促進、取り組んでいることなど）、申請者の事業内容などを記入してください。

③ 関係者について

本事業に係る関係者（協議会の構成員）について、記入してください。

(2) 事業デザイン

① 事業の位置づけ

本事業の位置づけ（応募動機、事業の構想）などを記入してください。

② 目的

本事業で何をを目指しているのか、地域のビジョンや事業化までの構想など、本事業に応募した目的について記入してください。

(3) 現状について

① 実現可能性調査（F/S 調査）について

地域において、木質バイオマスや森林資源量に係る実現可能性調査（F/S 調査）を実施しているのか否か、調査の実施有無について記入してください。

また、調査を実施している場合、その概要等を記載してください。

② 地域の現状

本事業に応募した背景や地域が抱えている課題など、地域の現状について記入してください。

③ 事業実施について

本事業を取り組むにあたり、地域の現状を踏まえながら、本事業で実施する F/S 調査の要望等について記入してください。

(4) 自由記載（その他、アピールポイント）

① その他、アピールポイント

本事業に採択された場合の地域の強みや、本事業を通じてどのような事業効果を期待するのか。また、地域の連携方法、実施体制に関する地域住民の繋がりなど、自由に記載してください。

実施体制図（様式第3号）

地域内エコシステムの導入に向けて、本事業を実施していくにあたり、地域の関係者が誰で、どのように関わり（選定理由や役割分担）、どのような流れで地域に木質バイオマスが流通し、どこへ供給されていくのか。また、地域の関係者ごとに期待する効果として、どのようなものが想定されるのか。

可能な範囲で地域の実施体制図を作成してください。不明な項目は空欄のまま、ご提出ください。

7. 審査方法

応募申請後の審査は、以下の流れで行います。

(1) 一次選考

① 選考方法

書類審査とします。応募申請書の内容をもとに、本事業の検討委員が評価を行います。その評価結果より、二次選考に進む候補地域を選定します。

② 結果通知

一次選考の結果通知を郵送いたします。また、二次選考の詳細については、追ってご連絡いたします。

(2) 二次選考

① 選考方法

口頭発表とします。指定した会場にて1地域につき、約10分間のプレゼンテーションおよび質疑応答をしていただきます。発表者は、申請者または地域の関係者とします。選定は発表の内容をもとに、検討委員が評価を行います。

なお、二次選考に係る経費（旅費：交通費、宿泊費）については、申請者（発表者上限2名分）を事務局の規程に基づき、支払います。

② 結果通知

二次選考の結果通知（採択の可否）は、一次選考と同様に郵送いたします。また、採択された地域については、事業の進め方等について、事務局より直接ご連絡いたします。

8. 応募書類の提出方法

応募書類の提出方法は、以下のとおりです。

(1) 提出方法

地域内エコシステム専用 HP【<http://wb-ecosys.jp>】内にある応募申請書の専用様式をダウンロードし、必要事項をご記入、捺印及び必要書類をご準備の上、【mail@wb-ecosys.jp】まで、添付ファイルにてご応募ください。

なお、応募申請書一式につきましては、事務局が申請書一式を確認後、後日、原本（紙媒体）を郵送にてご提出いただきますので、ご注意ください。

表 応募書類の提出について

| | |
|--------------------|---|
| 公募期間 | ✓ 2019年5月8日（水）～6月7日（金） |
| 公募締切 | ✓ 2019年6月7日（金） 17時（必着） |
| 応募申請書一式 ダウンロード先 | ✓ 地域内エコシステム専用 HP 【 http://wb-ecosys.jp 】 |
| 提出方法 | ✓ 地域内エコシステム専用メール【 mail@wb-ecosys.jp 】 |
| 備考 | ✓ 送信時件名：2019 地域エコ応募申請書提出【申請者名】 ✓ ファイル形式：PDF 形式 ✓ 事務局が応募申請書一式を確認後、原本（紙媒体）を郵送にて提出 |

(2) 提出物

提出する書類は、応募申請書一式は、申請書頭紙（様式第1号）、応募申請書：事業計画書（様式第2号）、応募申請書：実施体制図（様式第3号）の3種類です。

そのほかに必要なものがあれば併せてご提出ください。

(3) 公募締め切り後の予定について

検討委員会を実施し、本事業の対象地域（採択地域）を選定します。採択結果は、応募された方々に個別にご連絡いたします。

採択された地域については、採択後に地域協議会また実現可能性調査（現地調査等）の日程調整を実施いたします。協議会および調査等は、2019年6月から2020年2月までの間に、順次実施する予定です。報告書は2020年3月中にお渡しいたします。

9. 留意事項

本事業は、事務局から専門調査員を派遣し、地域の関係者の方と協働で調査を行うという形式で、事業実施主体への補助金が交付されるものではありません。なお、本事業は単年度事業になります。

10. FAQ

別紙をご参照ください。

11. 問い合わせ先

本事業に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒102-0085 東京都千代田区六番町7番地 日林協会館 4階
（一社）日本森林技術協会 事業部 林業経営グループ バイオマス担当
電話（直通）：03-3261-9129 / 9121
電話（代表）：03-3261-5281
FAX：03-3261-3044
Mail：mail@wb-ecosys.jp

以上